

## 2007年 4月 松坂屋月次営業報告

## 1. 店舗別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)	入店客数(%)	営業日数増減
名古屋店	△ 4.0	46.4	△ 6.0	±0日
岡崎店	△ 7.6	2.0	△ 10.5	△1日
名古屋駅店	△ 1.0	4.2	3.9	±0日
豊田店	△ 2.4	3.4	△ 3.5	±0日
高槻店	△ 7.7	5.4	3.5	±0日
上野店	5.0	22.9	3.4	±0日
銀座店	△ 1.6	5.5	△ 5.1	±0日
静岡店	0.3	10.3	△ 2.1	±0日
合計	△ 1.6	100.0	△ 1.2	

## 2. 商品別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)
紳士服・洋品	△ 5.1	7.4
婦人服・洋品	△ 1.6	28.4
子供服・洋品	△ 3.2	3.6
その他衣料品	△ 6.6	3.5
衣料品計	△ 2.8	42.9
身の回り品	△ 3.4	10.1
化粧品	1.5	3.3
美術・宝飾・貴金属	△ 0.4	7.3
その他雑貨	△ 5.4	6.3
雑貨計	△ 2.0	16.9
家具	2.0	2.8
家電	△ 4.9	0.9
その他家庭用品	3.4	6.8
家庭用品計	2.3	10.5
生鮮食品	△ 10.1	2.4
菓子	2.1	5.1
惣菜	1.2	4.9
その他食料品	12.0	4.4
食料品計	2.2	16.8
食堂・喫茶	△ 19.2	1.8
サービス	1.5	0.7
その他	35.8	0.4
合計	△ 1.6	100.0

## 3. 商況概況

## &lt;主な店舗別売上高概況&gt;

- ・全店売上高は対前年△1.6%。前年実施を上回った店舗は、上野店、静岡店。
- ・名古屋店は、ラグジュアリーブランドや宝飾品など高額品の売上は好調だったが、初夏物衣料の売上が低調であったことや、レストラン街改装工事による閉鎖の影響もあり、前年を下回った。
- ・岡崎店は、営業日前年比1日減。
- ・高槻店は、改装効果とイベント実施で入店客数は増加。売上は昨年実施した廉売催事中止の反動による減少。
- ・上野店は、改装効果持続により、入店客数増。
- ・静岡店は、入店客数は前年を下回ったものの、ラグジュアリーブランドや会場催事が堅調で4ヶ月連続で対前年売上増。

## &lt;主な商品別売上高概況&gt;

- ・紳士服・洋品は、スーツ・コート、ヤングの不振により前年を下回った。
- ・婦人服・洋品は、ラグジュアリーブランドが堅調だったものの、ミセス衣料が低調だったため前年を下回った。
- ・その他衣料品は、前年の呉服の大口売上の反動等で減。
- ・美術・宝飾・貴金属は時計、宝飾品は好調だったものの、美術が苦戦し前年を僅かに下回った。
- ・生鮮食品は、物産展の月ずれ等のため、前年を下回った。
- ・その他食料品は、法人外商の大口受注で大幅増。
- ・食堂・喫茶は、名古屋店本館レストラン街改装閉鎖により、前年を大幅に下回った。

(注) 1、2表とも、構成比の合計は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

## 2007年4月 横浜松坂屋月次営業報告

## 1. 店舗別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	入店客数(%)	営業日数増減
横浜松坂屋	0.6	△ 4.4	±0日

## 2. 商品別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)
紳士服・洋品	△ 0.5	4.7
婦人服・洋品	△ 6.0	18.2
子供服・洋品	△ 0.8	5.2
その他衣料品	4.4	1.4
衣料品計	△ 3.8	29.5
身の回り品	1.9	2.8
化粧品	△ 4.8	2.2
美術・宝飾・貴金属	6.1	9.3
その他雑貨	88.4	1.7
雑貨計	10.0	13.2
家具	-	0.0
家電	127.1	4.6
その他家庭用品	△ 21.1	2.9
家庭用品計	31.8	7.5
生鮮食品	0.1	13.2
菓子	△ 6.9	4.8
惣菜	△ 1.9	8.5
その他食料品	△ 48.5	1.7
食料品計	△ 6.9	28.2
食堂・喫茶	4.4	2.2
サービス	10.7	7.8
その他	△ 0.9	8.8
合計	0.6	100.0

## 3. 商況概況

## &lt;主な売上高概況&gt;

- ・売上高は対前年+0.6%。
- ・入店客数は、△4.4%と前年を下回った。
- ・外商部門は法人部門がやや苦戦するも、個人部門が好調。

## &lt;主な商品別売上高概況&gt;

- ・婦人服・洋品は春物の動きが悪く前年を下回った。
- ・美術・宝飾・貴金属は書画催事の好調により前年プラス。
- ・その他雑貨は趣味雑貨の催事好調により前年大幅増。
- ・家電は外商の大口特注により大幅増。
- ・その他家庭用品は、前年大口受注の反動減。
- ・菓子は名店街の不調によりマイナス。
- ・その他食料品の減は食品ギフト券計上方法の変更による。
- ・サービスは、各種テナント部門の好調による。

(注) 2表の構成比合計は、計算処理上必ずしも100%にはなりません。

お問い合わせ先 ㈱松坂屋ホールディングス (名古屋) TEL 052-264-7028  
 広報・IR室 (東京) TEL 03-3572-1201

**Matsuzakaya**  
 HOLDINGS